



2017年3月期  
日本電設工業グループ

NDKグループ

# 2017年3月期決算説明会

2017年5月24日



NDKグループ

日本電設工業株式会社

I . 会社概要 .....	2
II . 2017年3月期決算概要 .....	3
III . 部門別概況 .....	9
IV . 2018年3月期業績予想 .....	24
V . 日本電設3ヶ年経営計画2015 .....	30

## 4本の柱で全国に事業展開

- 鉄道電気工事におけるリーディングカンパニー
- 技術と信頼で創立から75年
- JR東日本との強固な関係

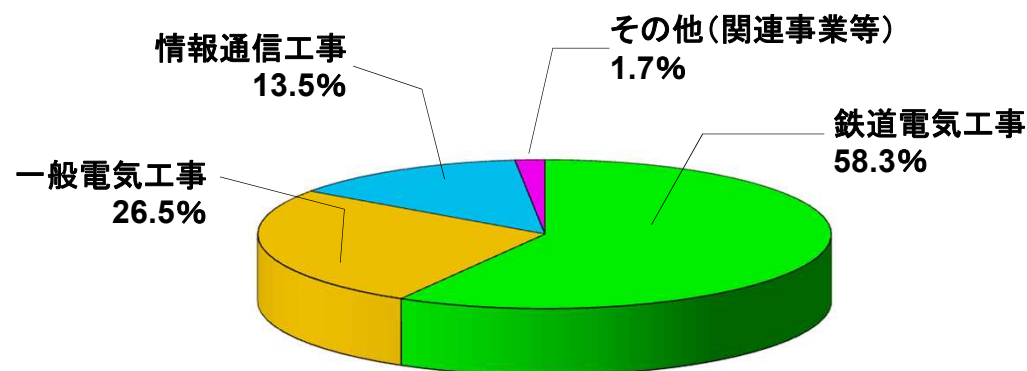
### 部門別売上高構成額

(単位:百万円)

4本の柱 (部門)	2017年3月期 売上高	うち、JR東日本に 対する売上高
鉄 道 電 気 工 事	100,423	83,250
一 般 電 気 工 事	45,561	5,490
情 報 通 信 工 事	23,303	14,827
その他(関連事業等)※	2,876	118
合 計	172,165	103,686 (60.2%)

※「その他(関連事業等)」とは、関連事業、ビル総合管理、資材等の販売、ソフトウェアの開発および電気設備の設計等

### 部門別売上高構成比率



## Ⅱ. 2017年3月期決算概要



2017年3月期  
日本電設工業グループ

### ■ 決算のポイント 【受注高は大幅増、利益率は高水準を維持】

2017年3月期連結業績は、受注高1,857億円(前期比132億円増)、売上高1,722億円(前期比21億円減)、当期純利益91億円(前期比3億円減)の減収減益決算となるも、次期繰越高は大幅に増加(前期比151億円増)し、利益率は高水準を維持することができた。

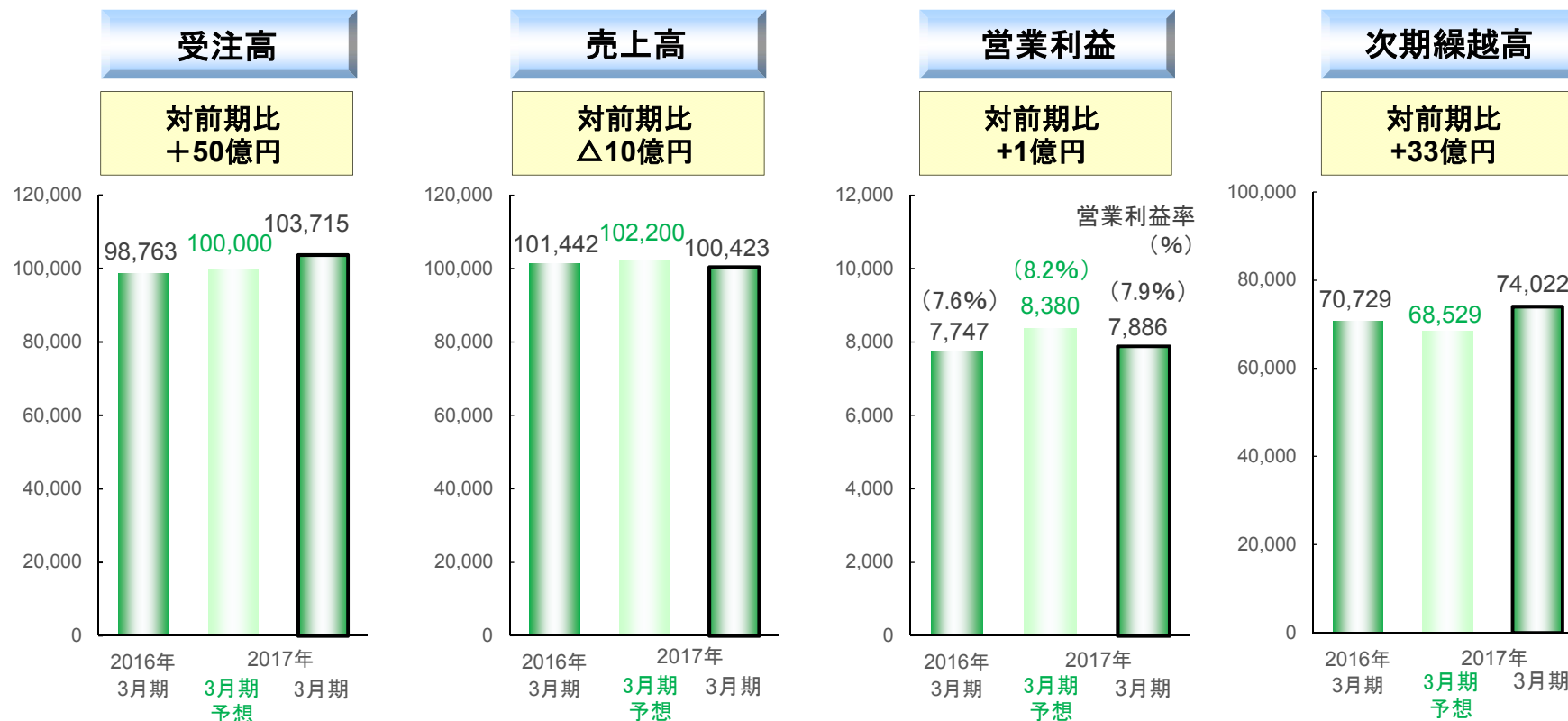
	2016年3月期	2017年3月期	対前期比		2017年3月期予想	対予想比	
受注高	172,543	185,706	7.6%	13,162	176,700	5.1%	9,006
売上高	174,225	172,165	△1.2%	△2,059	178,100	△3.3%	△5,934
売上原価	(84.7%) 147,560	(84.4%) 145,321	△1.5%	△2,238	(84.8%) 151,050	△3.8%	△5,728
売上総利益	(15.3%) 26,664	(15.6%) 26,843	0.3P	179	(15.2%) 27,050	0.4P	△206
販売費及び一般管理費	(7.1%) 12,324	(7.6%) 13,032	5.7%	707	(7.3%) 12,990	0.3%	42
営業利益	(8.2%) 14,339	(8.0%) 13,811	△0.2P	△528	(7.9%) 14,060	0.1P	△248
営業外損益	(0.6%) 1,068	(0.5%) 912	△14.7%	△156	(0.4%) 760	20.0%	152
経常利益	(8.8%) 15,408	(8.6%) 14,723	△0.2P	△685	(8.3%) 14,820	0.3P	△96
特別損益	(△0.1%) △103	(△0.1%) △94	－%	8	(－%) —	－P	△94
親会社株主に帰属する当期純利益	(5.4%) 9,453	(5.3%) 9,126	△0.1P	△327	(5.2%) 9,280	0.1P	△153
次期繰越高	130,097	145,156	11.6%	15,059	130,096	11.6%	15,060

# 鉄道電気工事の実績



2017年3月期  
日本電設工業グループ

(単位:百万円)



## ■ 決算のポイント(部門別)

JR東日本からの受注を増やすことができ受注高は大幅に増えたが、北海道整備新幹線工事が終息したこと、次期への繰越工事が多かったこと等により売上高は前期並となった。

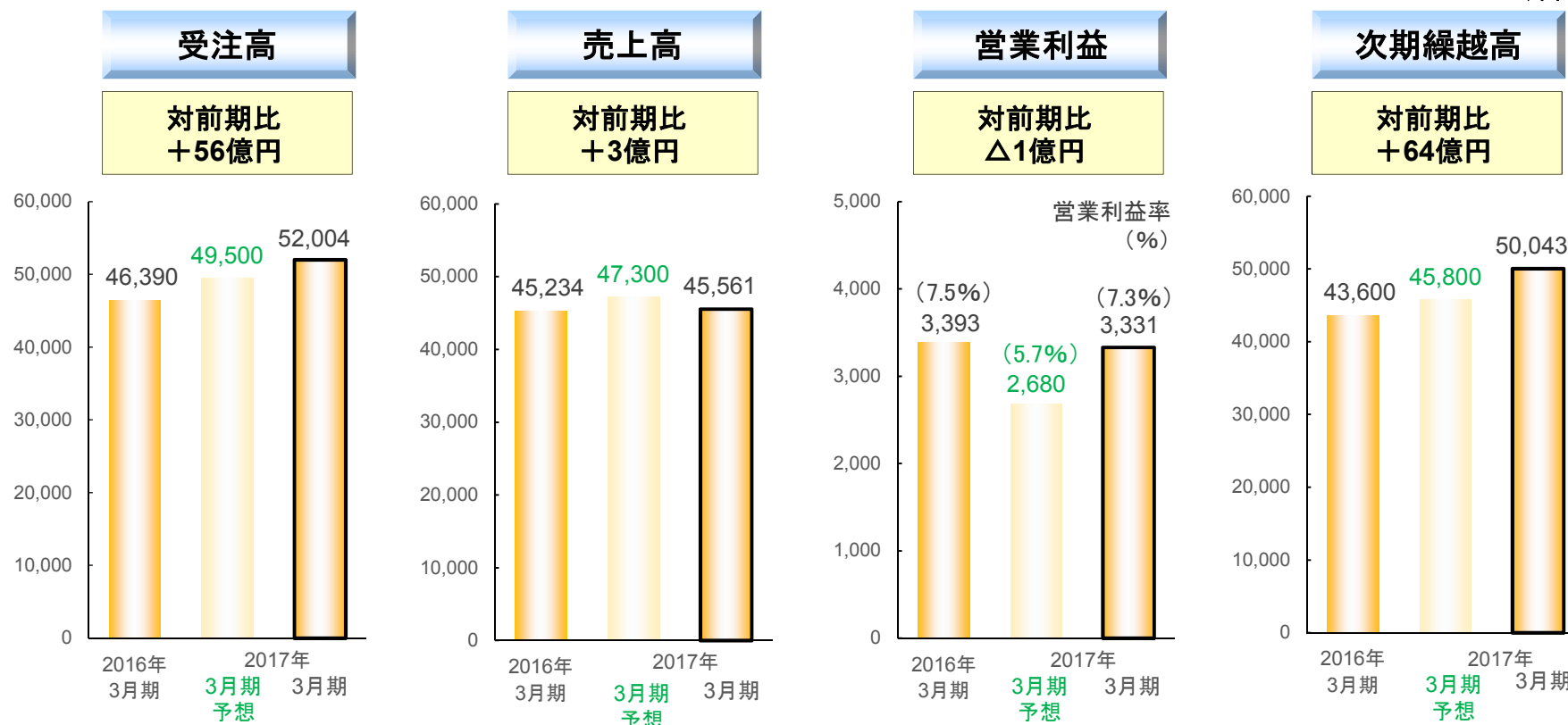
営業利益は効率的な施工により高い利益率を維持し、前期比微増となった。

# 一般電気工事の実績



2017年3月期  
日本電設工業グループ

(単位:百万円)

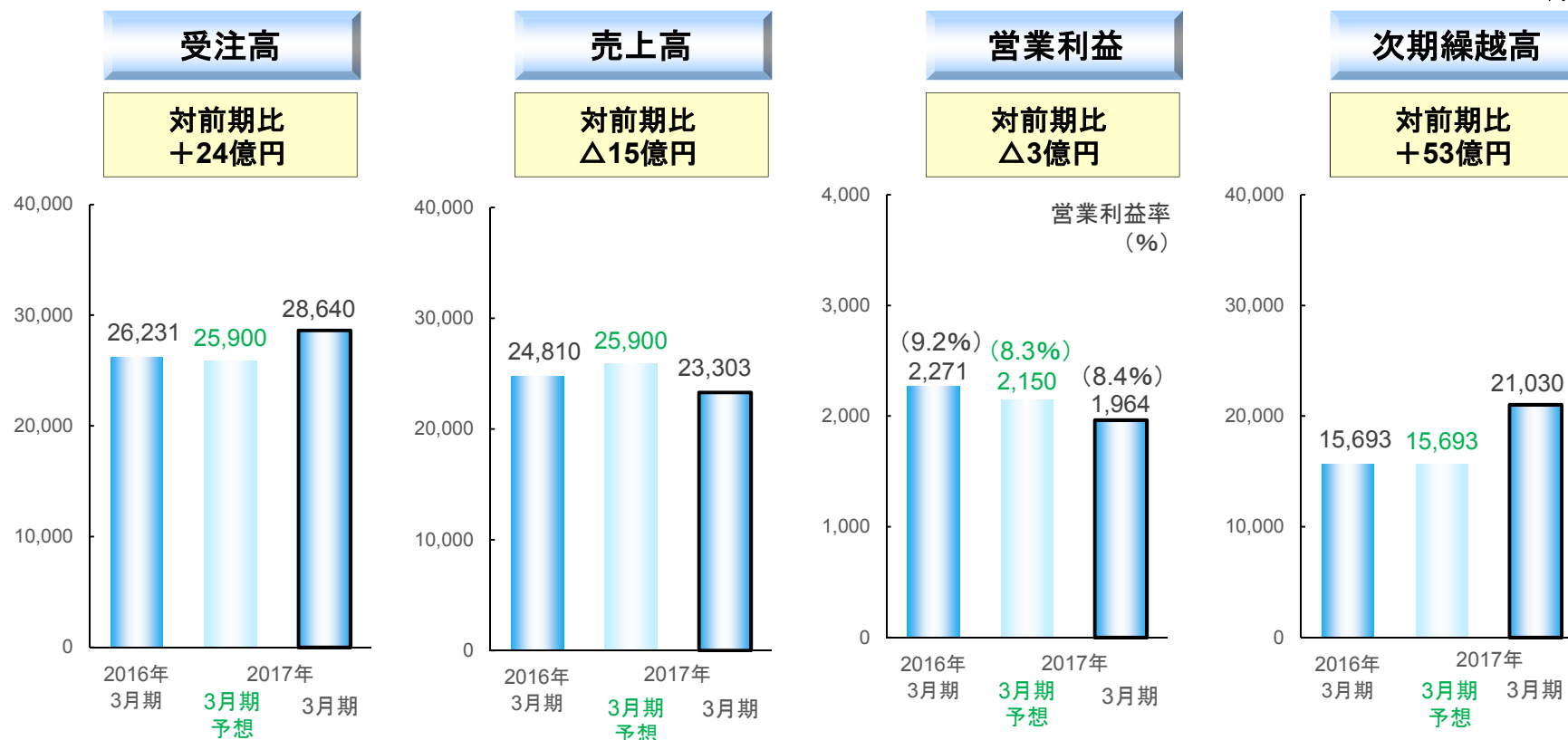


## ■ 決算のポイント(部門別)

大型工事の受注を増やすことができ受注高は大幅に増えたが、次期への繰越工事が多く、売上高は前期比微増であった。

営業利益は効率的な施工により高い利益率を維持し、前期並となった。

(単位:百万円)



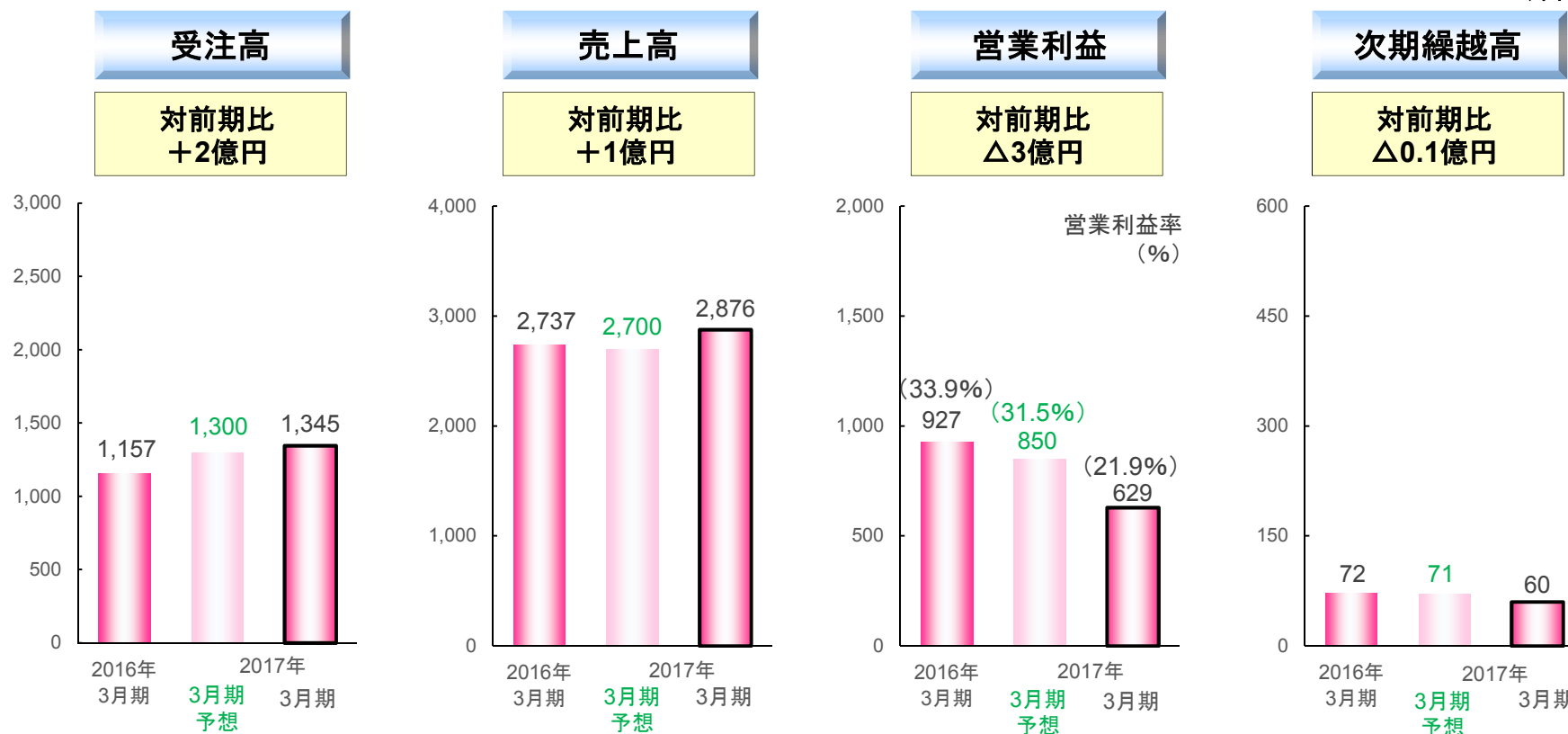
## ■ 決算のポイント(部門別)

JR東日本および官公庁からの受注を増やすことができ受注高は大幅に増えたが、売上高は北海道新幹線通信工事が終息したこと、次期への繰越工事が多かったこと等により前期比減となった。

営業利益は売上高の減少に伴い前期比減となったが、効率的な施工により高い利益率を維持することができた。

# その他(関連事業等)の実績

(単位:百万円)



## ■ 決算のポイント(部門別)

不動産賃貸等の売を増やすことができ売上高は前期比微増となった。  
営業利益はグループ会社のソフトウェア開発の償却費が増加したため  
前期比減となった。

※「その他(関連事業等)」とは、関連事業、ビル総合管理、資材等の販売、ソフトウェアの開発および電気設備の設計等  
※不動産の賃貸・管理等は、受注生産を行っていないため、「受注高」には金額が含まれていない



# 2017年3月期実績

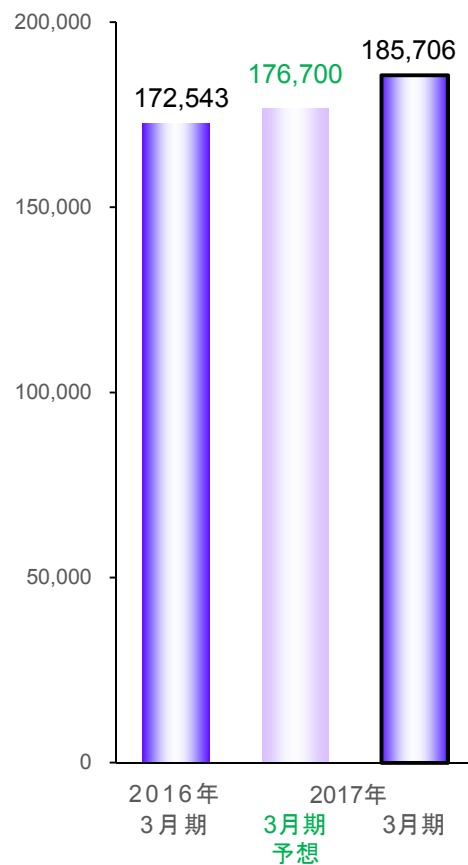


2017年3月期  
日本電設工業グループ

(単位: 百万円)

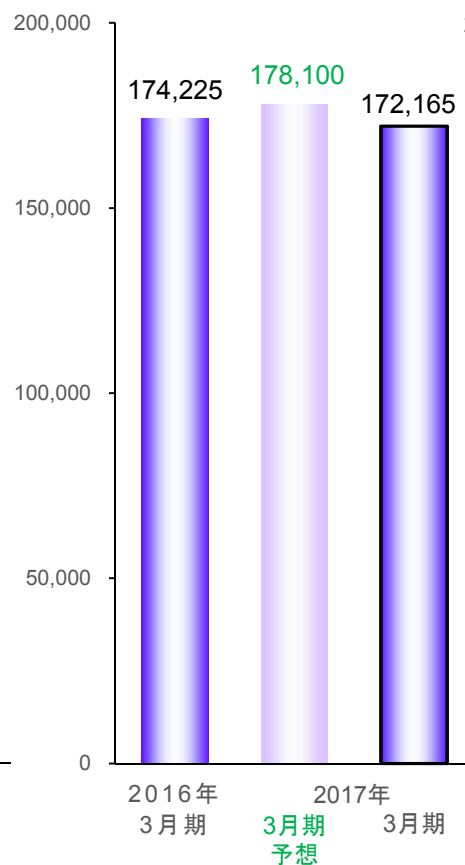
受注高

対前期比  
+132億円



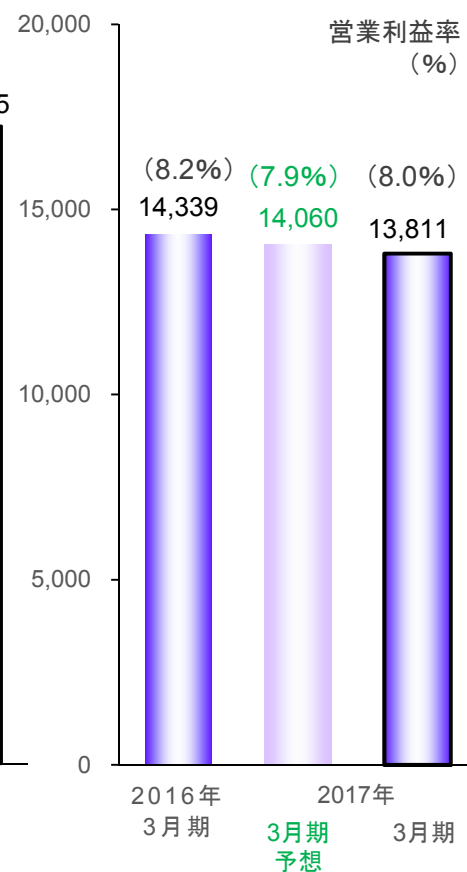
売上高

対前期比  
△21億円



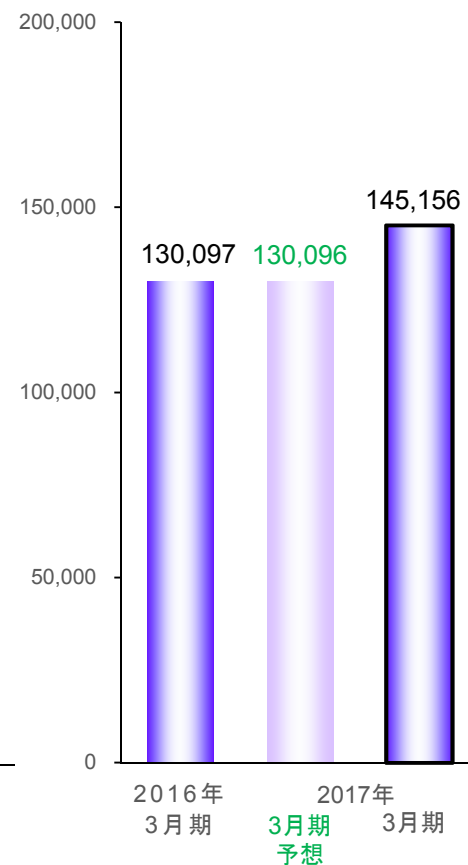
営業利益

対前期比  
△5億円



次期繰越高

対前期比  
+151億円



# Ⅲ. 部門別概況

# 鉄道電気工事の概況

2017年3月期



日本電設工業グループ

NDKグループ

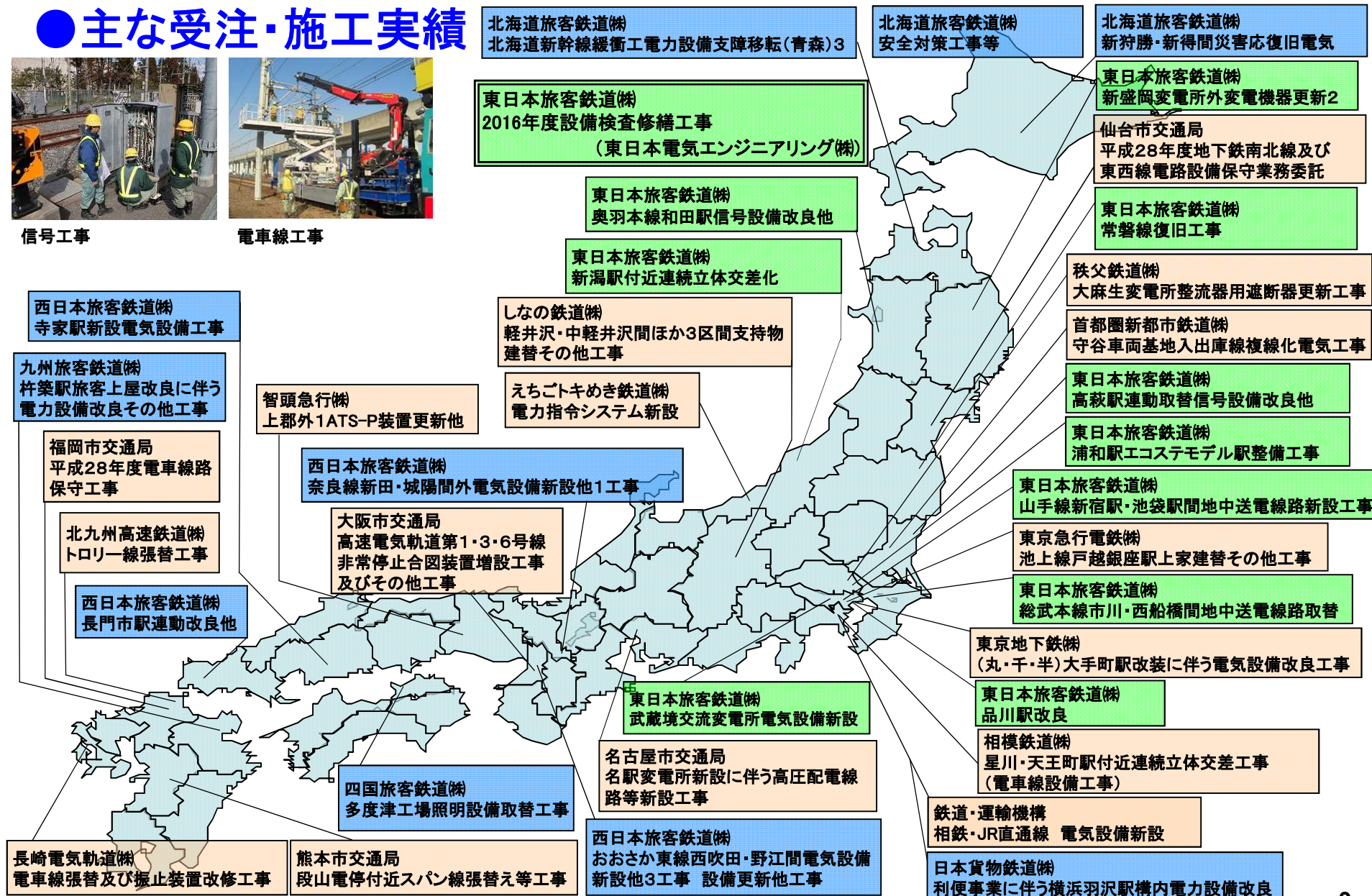
## ● 主な受注・施工実績



信号工事



電車線工事



## ●JR東日本プロジェクト工事

### ■常磐線復旧工事

東日本大震災の影響により運転を見合わせている常磐線を復旧する。(2019年度末までの全線運転再開を目指す。)

#### 当社の関わり

震災により流出・倒壊した電化柱・駅舎・踏切・通信ケーブル等に関する電気設備の撤去ならびに新設工事を受注。

【施工済】広野～竜田間、浪江～原ノ町間、相馬～浜吉田間

【施工中】竜田～富岡間、夜ノ森～浪江



移設後の坂元駅



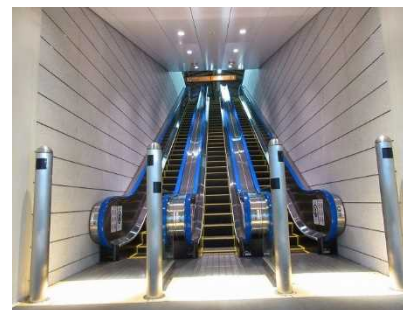
新地・坂元間

### ■駅改良工事

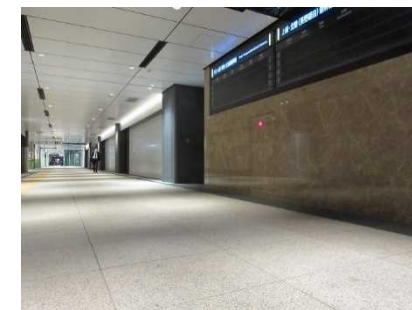
昇降設備設置によるバリアフリー設備の拡充や混雑緩和を目的としたコンコース拡幅などの駅サービス機能の強化、省エネ対応に伴う照明設備のLED化や受電設備等の改良工事を行う。

#### 施工中の主な駅

東京駅・品川駅・新宿駅・上野駅・新橋駅・御茶ノ水駅・飯田橋駅・千駄ヶ谷駅・原宿駅 他



東京駅 駅改良工事



品川駅 駅改良工事



新橋駅 駅改良工事



## ■品川駅周辺地区整備事業

品川車両基地の設備や車両留置箇所を見直すことで約13ヘクタールの用地が創出され、当該用地についてまちづくりの検討が進められている。

まちづくりの核として設置する新駅は、2020年春に暫定開業、また、2024年頃の街びらき時に本開業を予定している。

## 当社の関わり

線路切換に伴う次の工事を担当

【送電線】送電線路改良

【電車線】電車線路改良他

【電灯電力】高圧低圧配電線路・受変電設備改良他

【信号】信号機・ATC他設備改良他

【通信】通信線路・駅設備改良他



東日本旅客鉄道プレス資料より

## ■耐震補強

安全性の向上に向けた首都直下地震に備えた対策や東日本大震災を教訓とした耐震補強工事を行っており、電化柱をはじめとする各電気設備の耐震補強工事を施工している。

## 当社の関わり

【電車線】東北新幹線等の電化柱耐震補強工事

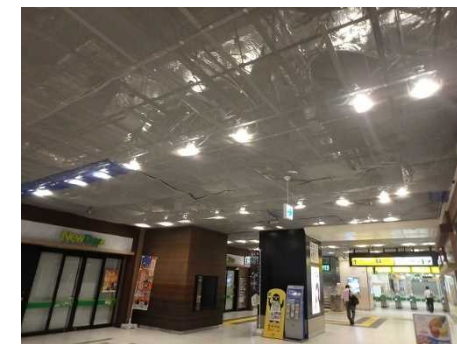
【電灯電力】駅電気設備、高圧配電線路改良、  
受変電設備改良他

【信号】耐震補強に伴う信号設備支障移転・  
復旧工事

【通信】耐震補強に伴う通信設備改良・  
地震端局装置改良



電化柱耐震補強工事(高じん性化)



高崎駅電力設備改良(耐震)

# 鉄道電気工事の概況



2017年3月期  
日本電設工業グループ

## ● 公民鉄工事

全国の公民鉄事業者からの受注拡大に向けて、工事計画の情報収集と営業戦略の策定を行い、全国的に営業展開している。

### 受注・売上高実績

(単位:億円)

	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期
受注高	66	59	83	71
売上高	50	52	77	85



東京急行電鉄(株) 大井町線尾山台駅  
ホームドア設置工事



東京地下鉄(株) 駅設備整備事業  
丸ノ内線 大手町駅改装工事

## ■ 相鉄・JR直通線(神奈川県東部方面線)

相鉄本線西谷駅からJR東海道貨物線横浜羽沢駅を経由し、相鉄線とJR線の相互直通運転を行うプロジェクトであり、当社は鉄道・運輸機構から発注された同区間や、各鉄道事業者が発注する接続線新設工事等を施工している。

### 当社の関わり

【電車線】 電車線路改良他

【電灯電力】 配電線路、電力設備他

【通信】 通信線路設備、列車無線設備、通信設備他

【信号】 信号線路設備、信号機、連動装置他



鉄道・運輸機構HPより



## ●主なプロジェクト工事

【東北新幹線電化柱耐震補強工事】



【京浜東北線ホームドア設置工事】



東日本旅客鉄道プレス資料より

【埼京線無線式列車制御  
システム工事(ATACS)】



2017年秋に使用開始予定

【山手線新宿駅・池袋駅間  
地中送電線路新設工事】



写真は他区間の同種工事のものです

## ●主なプロジェクト工事

【新潟駅付近連続立体交差化事業】



【「エコステ」モデル駅整備工事】



浦和駅改札内コンコース

【連動取替信号設備改良工事】



高萩駅信号機器室

【つくばエクスプレス  
守谷車両基地入出庫複線化工事】



首都圏新都市鉄道プレス資料より

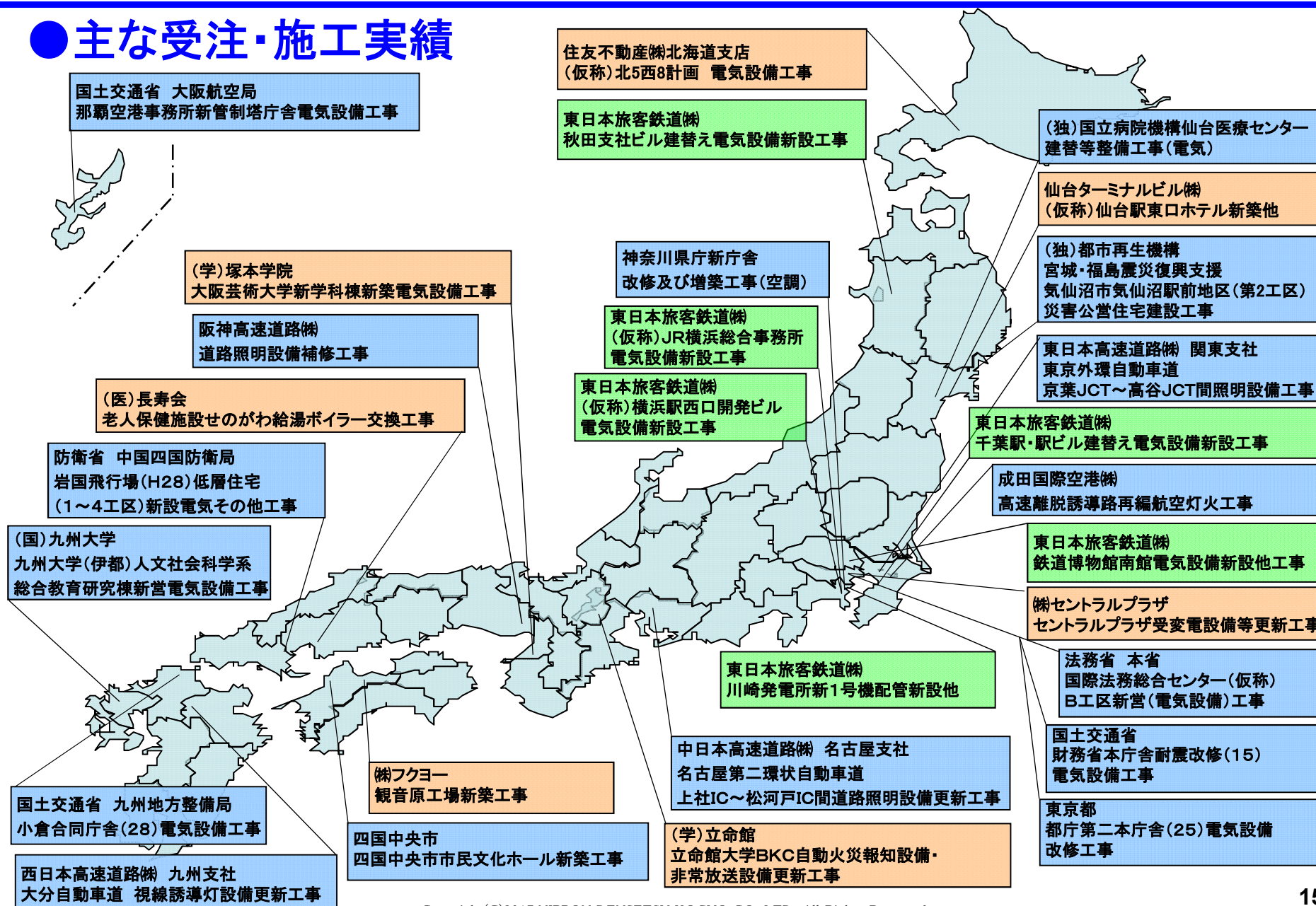
# 一般電気工事の概況

2017年3月期



日本電設工業グループ

## ●主な受注・施工実績





# 一般電気工事の概況



2017年3月期  
日本電設工業グループ

## ●主なプロジェクト工事

【九州大学(伊都)人文社会科学系  
総合教育研究棟新営電気設備工事】



2018年2月完成予定 九州大学現場施工資料より

【千葉駅・駅ビル建替え電気設備新設工事】



東日本旅客鉄道HPより  
2018年夏以降 駅ビル全面開業

【東京団地冷蔵株式会社 再整備事業 新築工事】



2018年2月完成予定 東京団地冷蔵HPより

【愛知県医療療育総合センター(仮称)本館棟電気工事】



2018年12月完成予定

愛知県HPより

# 一般電気工事の概況



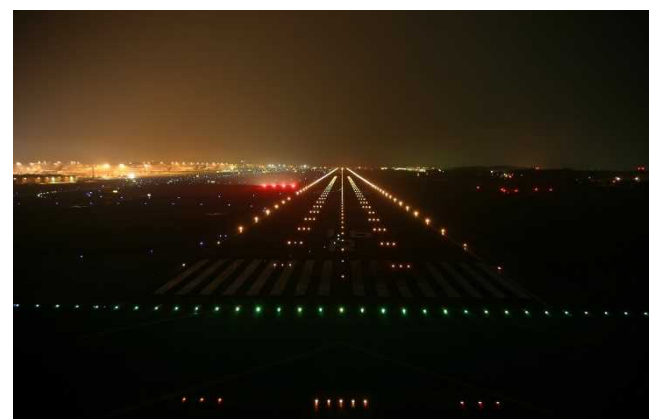
2017年3月期  
日本電設工業グループ

## 【独立行政法人国立病院機構仙台医療センター 建替等整備工事(電気)】



2019年春完成予定 (独)国立病院機構  
仙台医療センターHPより

## 【成田国際空港(株) 高速離脱誘導路再編航空灯火工事】



2019年12月完成予定 写真提供:成田国際空港株式会社

## 【セントラルプラザ(飯田橋) 受変電設備等更新工事】



2019年3月完成予定

## 【(仮称)横浜駅西口開発ビル 電気設備新設工事】



2020年完成予定 東日本旅客鉄道プレス資料より



# 一般電気工事の概況



2017年3月期  
日本電設工業グループ

## 【東京外環自動車道 京葉JCT～高谷JCT間照明設備工事】



東日本高速道路㈱HPより

## 【阪神高速道路 道路照明設備補修工事】



2018年12月完成予定 阪神高速道路㈱HPより

## 【神奈川県庁新庁舎改修及び増築工事(空調)】



2017年10月完成予定

## 【川崎発電所新1号機配管新設他】



2021年運転開始予定 東日本旅客鉄道HPより

Copyright(C)2017 NIPPON DENSETSU KOGYO CO.,LTD. All Rights Reserved

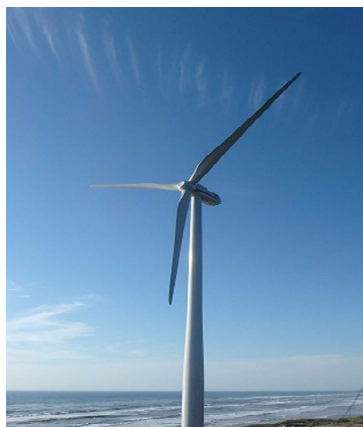
# 一般電気工事の概況



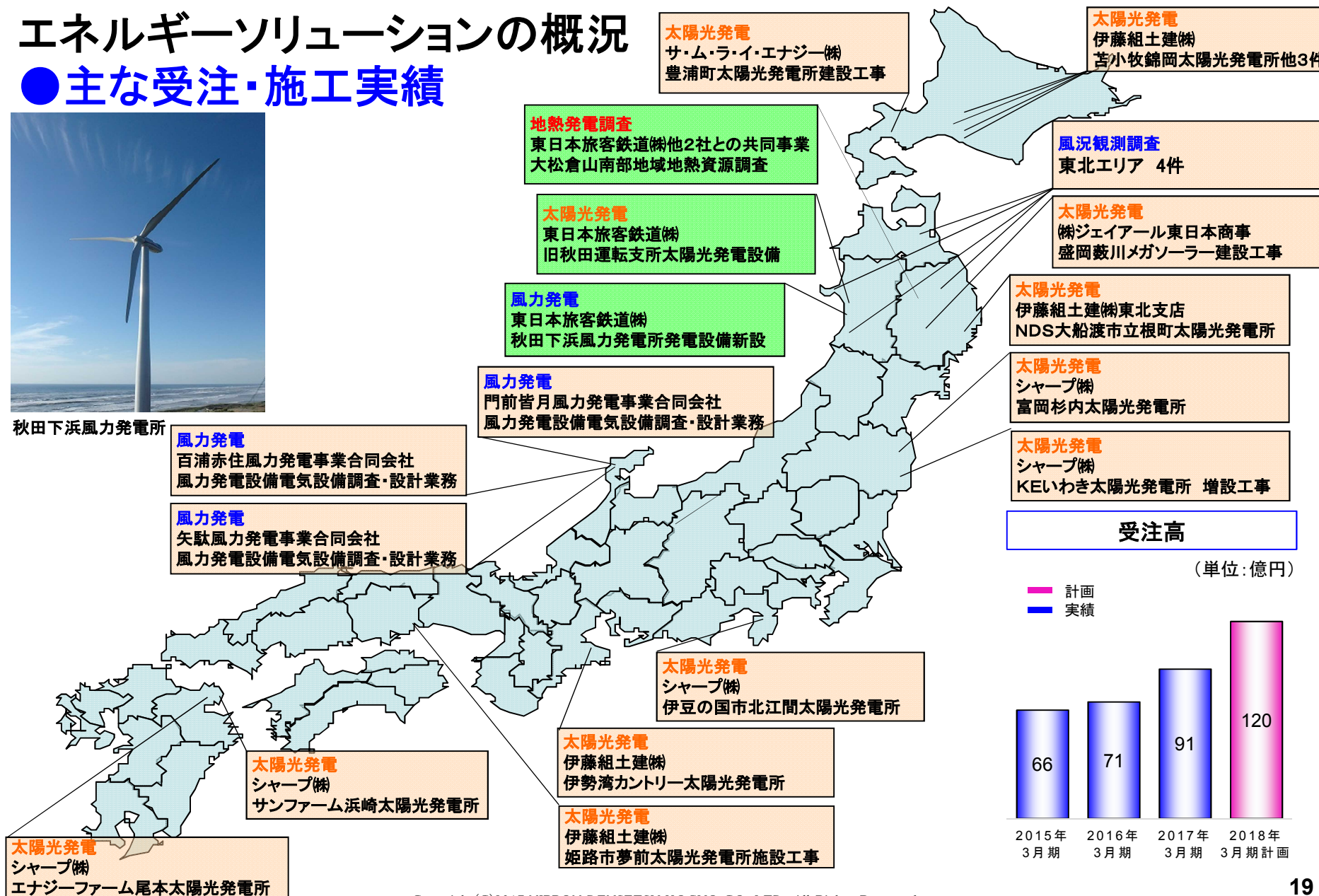
2017年3月期  
日本電設工業グループ

## エネルギーソリューションの概況

### ●主な受注・施工実績

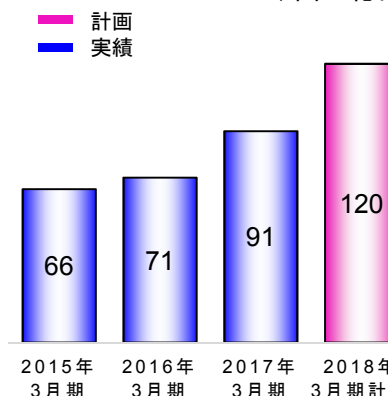


秋田下浜風力発電所



### 受注高

(単位: 億円)



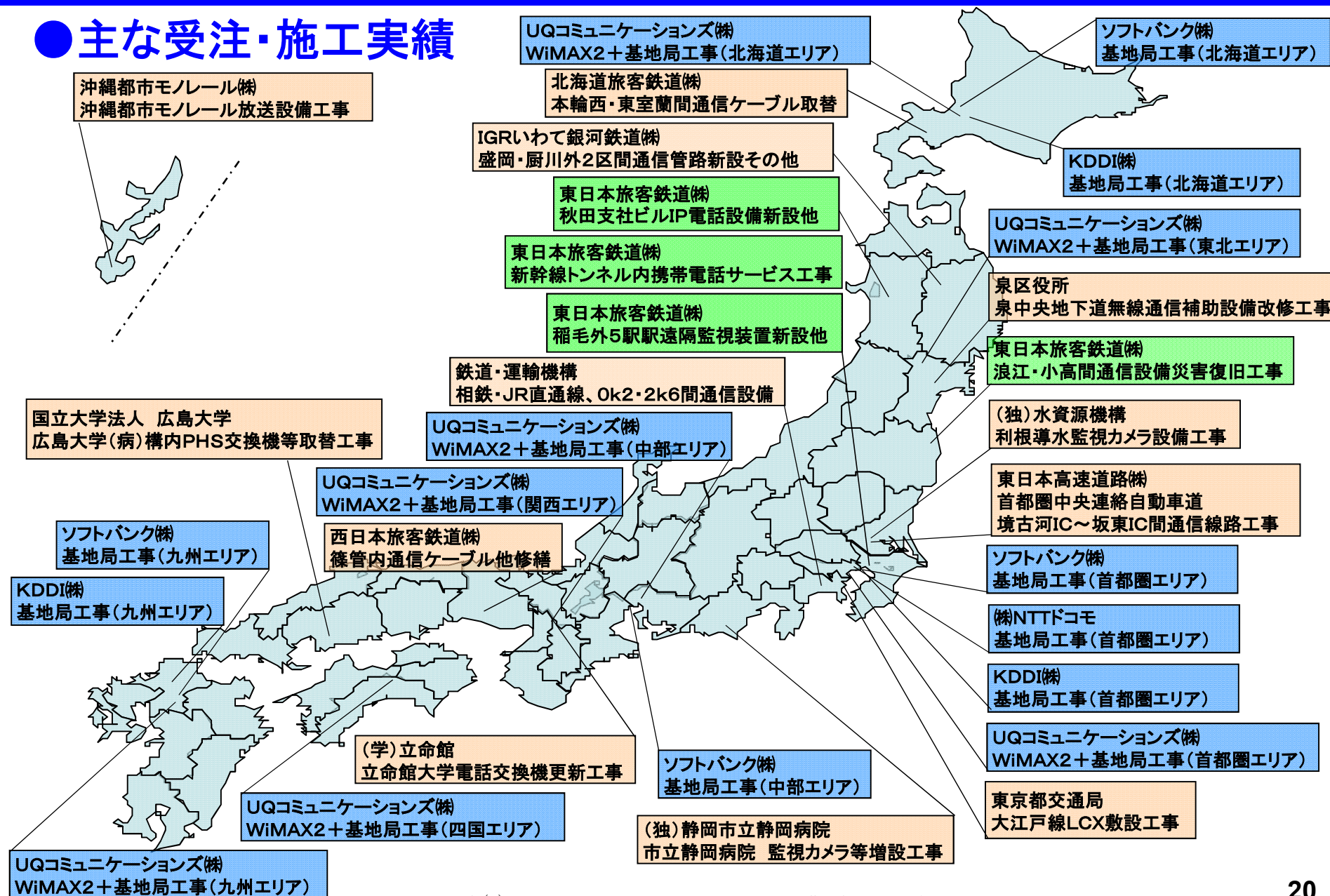
# 情報通信工事の概況

2017年3月期



日本電設工業グループ

## ● 主な受注・施工実績





## ●新幹線トンネル内 携帯電話サービス工事

凡例

- トンネル内携帯電話サービス中※
- 2017年3月31日よりトンネル内携帯電話サービス開始
- 2017年度内トンネル内携帯電話サービス開始（予定）



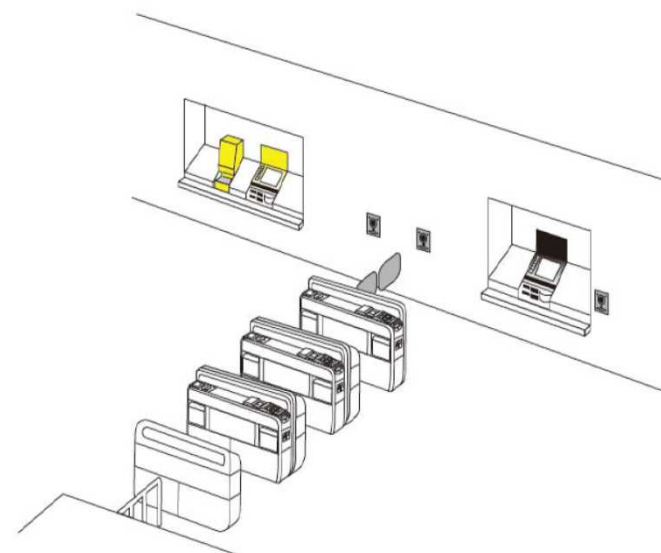
東日本旅客鉄道プレス資料より

## ●都営大江戸線LCX工事

列車無線方式のデジタル化に向けて、都庁前駅・光が丘駅間 約40キロにわたり漏洩同軸ケーブル(LCX)敷設関連工事等を施工中

## ●駅における遠隔操作システム

駅の利用客の少ない時間帯に自動券売機（多機能券売機）、自動改札機や自動精算機等の操作および監視を遠隔で行うシステムを約200駅で施工



東日本旅客鉄道プレス資料より

## ●首都圏中央連絡自動車道 境古河～坂東間通信線路工事

非常電話機の設置および光ケーブル敷設などの通信工事を施工



NEXCO東日本 提供

## ●次世代WiMAX (WiMAX2+)基地局工事

超高速ブロードバンドサービスとなる次世代WiMAX(WiMAX2+)の基地局工事について、全国の鉄道沿線対策等を施工中



UQコミュニケーションズプレス資料より

# 関連事業の概況



2017年3月期  
日本電設工業グループ

## ●保有不動産を有効活用した 賃貸マンション・賃貸オフィス事業

全国の主要都市で20棟・434戸の賃貸マンションを運営  
(入居率91%)



ロータス草加(埼玉県草加市)  
2016年11月完成



ロータス北大前(北海道札幌市)  
2017年1月完成

賃貸不動産	2017年3月期	2018年3月期(計画)
売上高	962百万円	1,021百万円

## ●新規事業

保有不動産の新たな活用方法の開発

- ・立地の特性、市場性を踏まえた効果的活用による  
新たな価値の創造

物品販売等における新規事業の開発

- ・JR東日本グループ会社との連携による調達・販売  
システムの事業スキーム開発と推進

## ●電気保安事業の拡大

当社施工物件等のお客様への提案営業の推進  
(NDK総合サービス株)



JR新宿ミライナタワー  
電気設備保守点検業務



グラントウキョウサウスタワー  
電気設備保守点検業務

## ●太陽光発電事業の運営

設置場所	北海道 白老町	栃木県 宇都宮市	神奈川県 平塚市
発電規模	1,250kW	30kW	33kW
事業開始	2013年11月	2014年7月	2015年12月

2017.3実績			
売電量	1,647,851kWh/年	43,294kWh/年	44,485kWh/年
売上高	65.9百万円	1.6百万円	1.4百万円



日本電設白老町川沿ソーラーファーム



NDK平塚ビル屋上



## IV. 2018年3月期業績予想



2017年3月期  
日本電設工業グループ

### ■ 業績予想のポイント【受注・売上・利益ともに過去最高を目指す】

2018年3月期連結業績予想は、豊富な繰越高(前期比151億円増)を背景に売上高を大幅に拡大(前期比130億円増)するとともに、高い経常利益率を維持して、当期純利益96億円(前期比5億円増)を目指す。

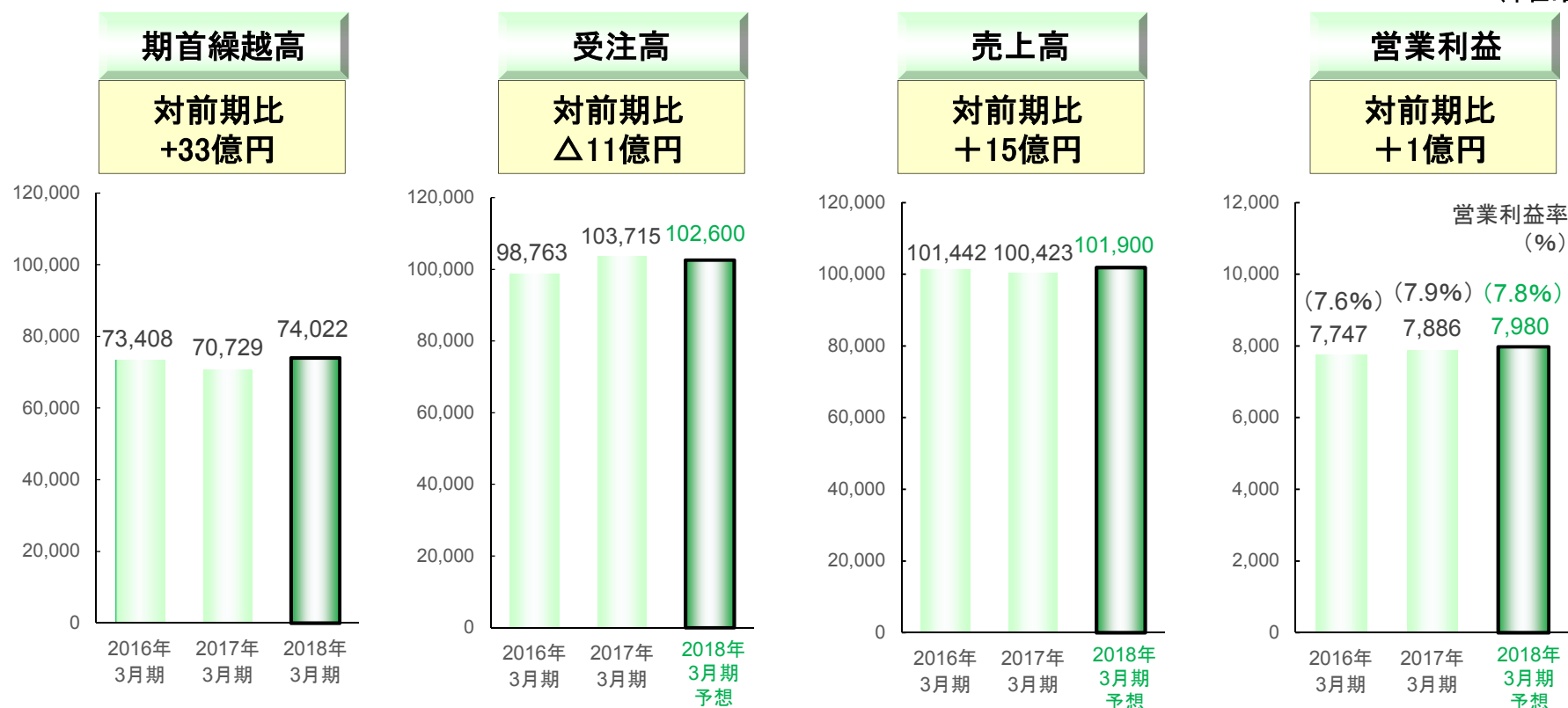
	2017年3月期	2018年3月期予想	対前期比	
期首繰越高	130,097	145,156	11.6%	15,059
受注高	185,706	186,700	0.5%	993
売上高	172,165	185,200	7.6%	13,034
売上原価	(84.4%) 145,321	(85.1%) 157,610	8.5%	12,289
売上総利益	(15.6%) 26,843	(14.9%) 27,590	0.7P	746
販売費及び一般管理費	(7.6%) 13,032	(6.9%) 12,760	△2.1%	△272
営業利益	(8.0%) 13,811	(8.0%) 14,830	0.0P	1,018
営業外損益	(0.5%) 912	(0.4%) 710	△22.2%	△202
経常利益	(8.6%) 14,723	(8.4%) 15,540	△0.2P	816
特別損益	(△0.1%) △94	(－P) —	－P	94
親会社株主に帰属する 当期純利益	(5.3%) 9,126	(5.2%) 9,630	△0.1P	503

# 鉄道電気工事の予想



2017年3月期  
日本電設工業グループ

(単位:百万円)



## ■業績予想のポイント(部門別)

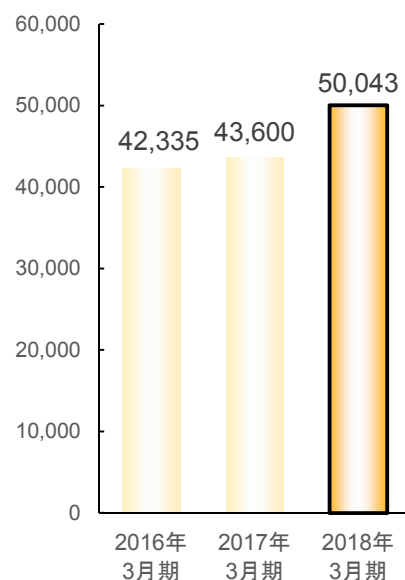
JR東日本および公民鉄事業者への積極的な営業展開により受注高を確保し、豊富な手持工事の確実な施工で売上高の拡大を目指す。  
効率的な施工を推進し高水準の利益率維持を目指す。

# 一般電気工事の予想

(単位:百万円)

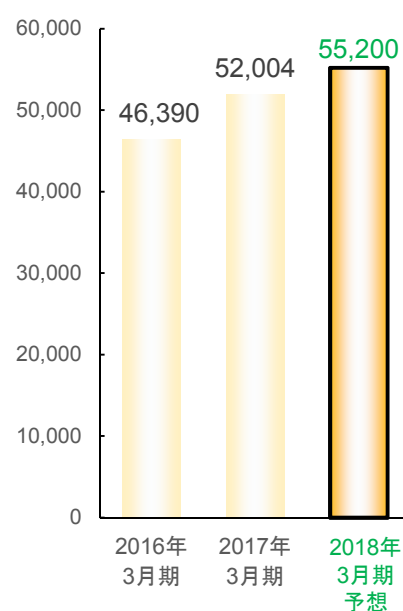
## 期首繰越高

対前期比  
+64億円



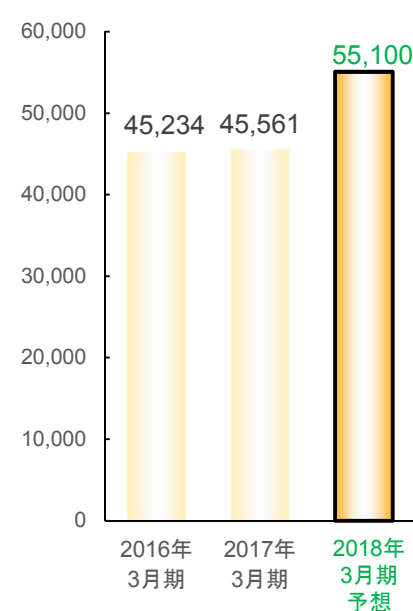
## 受注高

対前期比  
+32億円



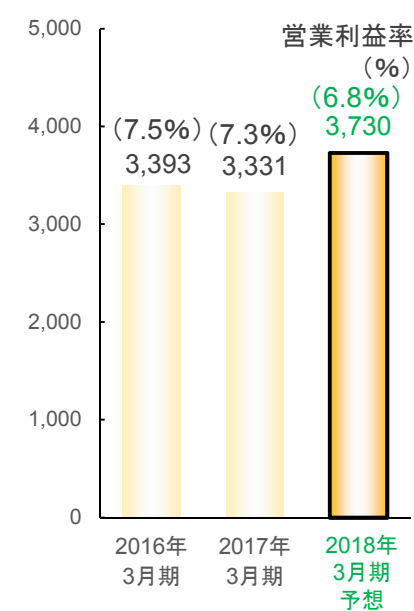
## 売上高

対前期比  
+95億円



## 営業利益

対前期比  
+4億円



## ■業績予想のポイント(部門別)

大幅に増加した手持工事の確実な施工と受注高のさらなる拡大により  
売上高の大幅な拡大を目指す。

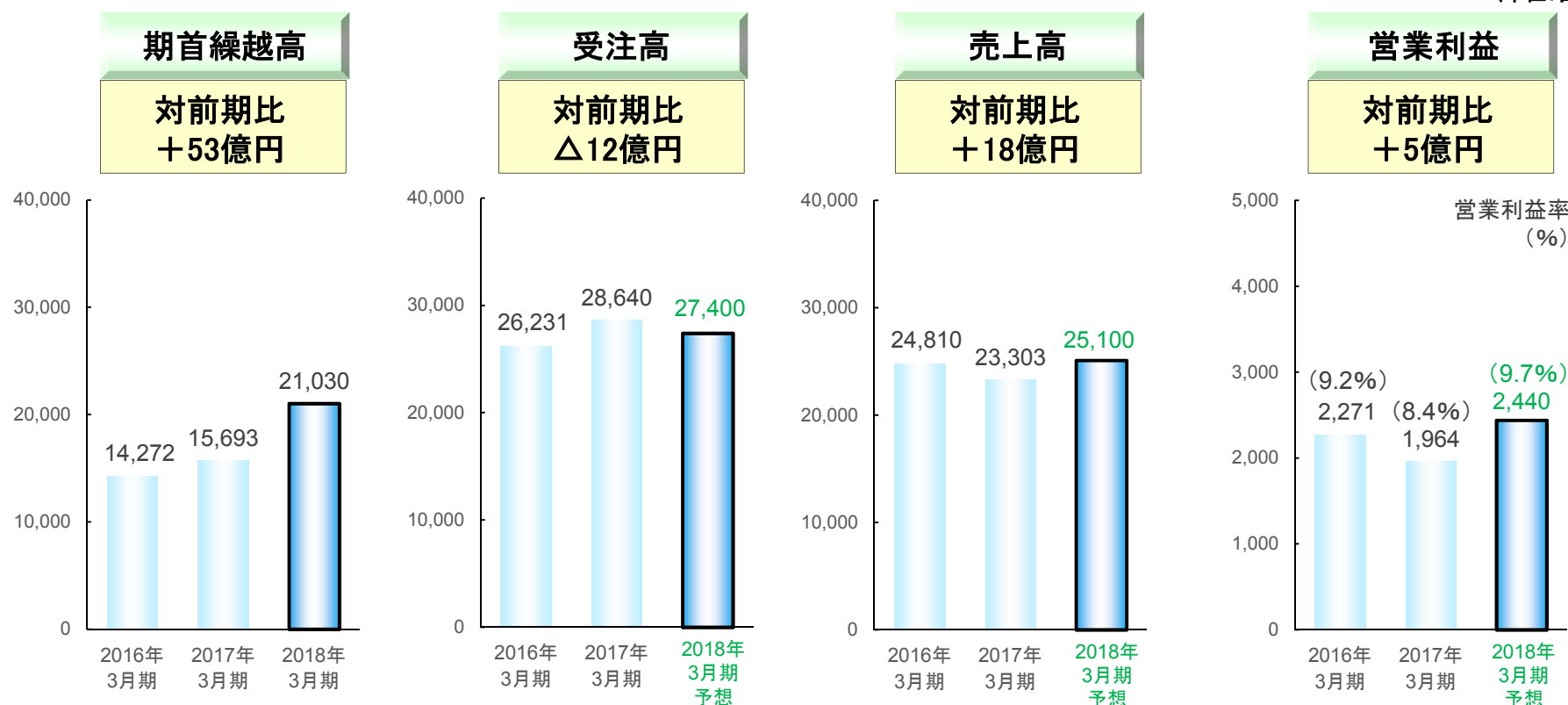
効率的な施工により高い利益率を維持し利益の拡大を目指す。

# 情報通信工事の予想



2017年3月期  
日本電設工業グループ

(単位:百万円)



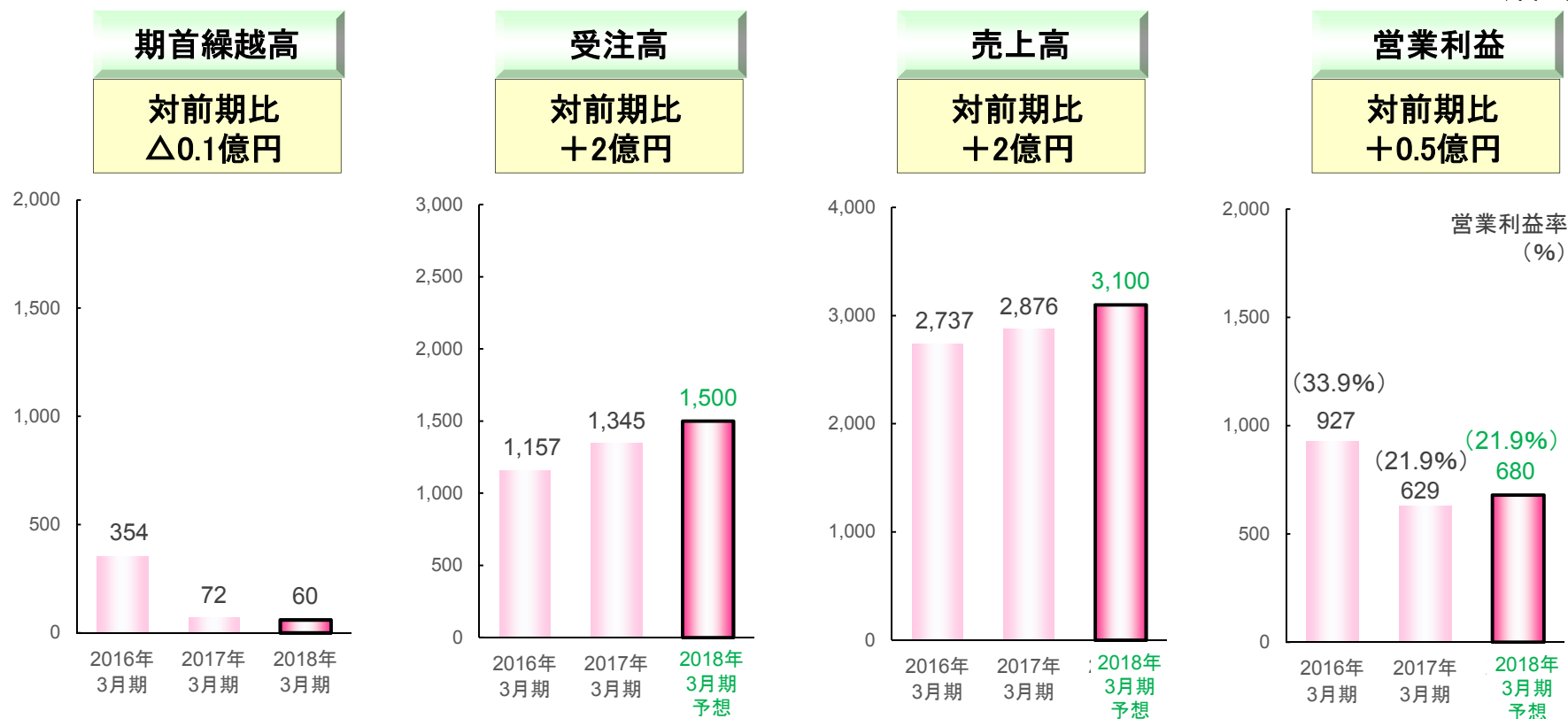
## ■業績予想のポイント(部門別)

大幅に増加した手持工事の確実な施工と受注の確保により売上高の大幅な拡大を目指す。

効率的な施工により高い利益率を維持し利益の拡大を目指す。

# その他(関連事業等)の予想

(単位:百万円)



## ■業績予想のポイント(部門別)

賃貸マンションの新築と新規事業の創出に注力し売上増を目指す。

※「その他(関連事業等)」とは、関連事業、ビル総合管理、資材等の販売、ソフトウェアの開発および電気設備の設計等  
 ※不動産の賃貸・管理等は、受注生産を行っていないため、「受注高」には金額が含まれていない

# 2018年3月期業績予想



2017年3月期  
日本電設工業グループ

(単位:百万円)

期首繰越高

対前期比  
+151億円

受注高

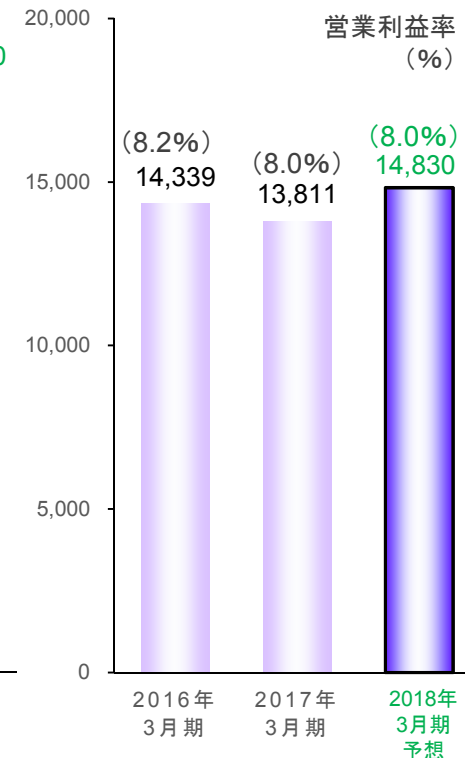
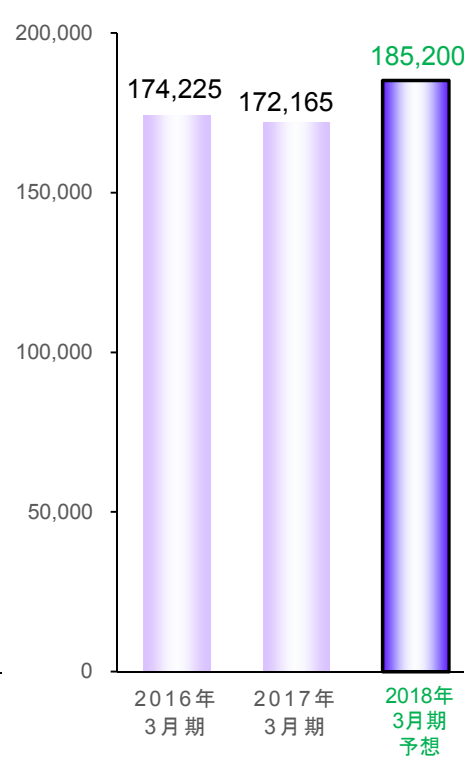
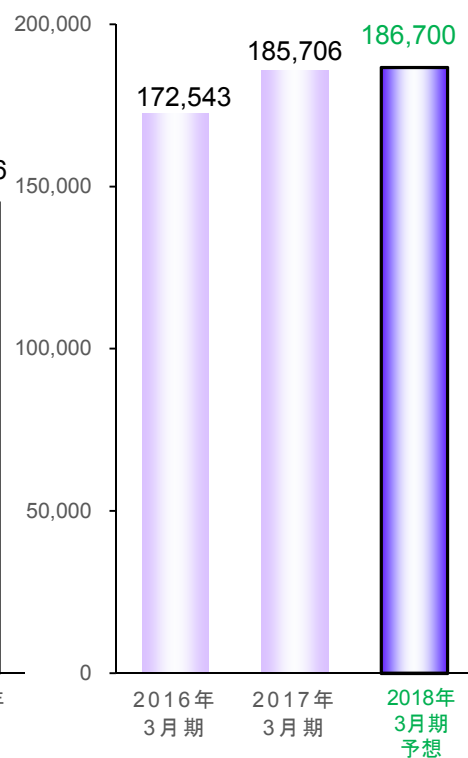
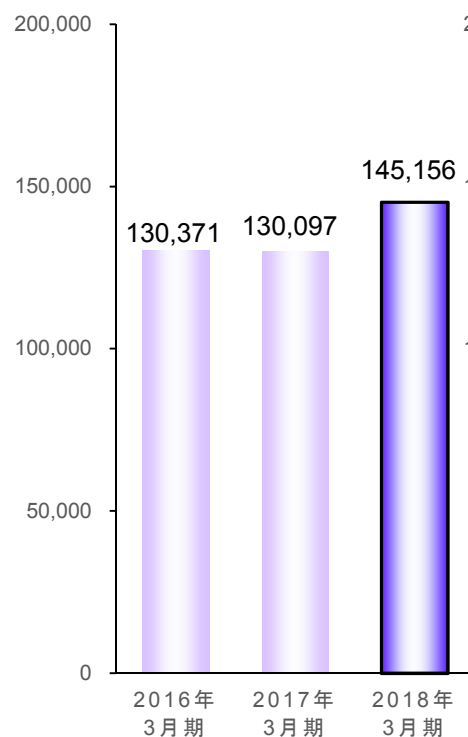
対前期比  
+10億円

売上高

対前期比  
+130億円

営業利益

対前期比  
+10億円



営業利益率 (%)

受注・売上・利益ともに過去最高を目指す。

# V. 日本電設3ヶ年経営計画2015



2017年3月期  
日本電設工業グループ

■ 4つの重点実施テーマの着実な実施により、当計画の最終年度として経営目標を達成し持続的成長を目指す。

## ◇ 重点実施テーマ ◇

組織力・技術力向上による  
経営基盤の強化

人材の確保と育成による  
人間力向上

技術開発と  
業務改善の推進

NDKグループの  
総合力向上

(単位:億円)

	2016年3月期		2017年3月期		2018年3月期
	予想	実績	予想	実績	予想
受 注 高	1,711	1,725	1,767	1,857	1,867
売 上 高	1,777	1,742	1,781	1,722	1,852
営 業 利 益	135	143	141	138	148
経 常 利 益	143	154	148	147	155
営 業 利 益 率	7.6%	8.2%	7.9%	8.0%	8.0%
経 常 利 益 率	8.1%	8.8%	8.3%	8.6%	8.4%

※2017年4月28日に公表した業績予想は、公表時点で入手している情報により作成したものです。今後の受注動向等により業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表します。

※当社では、中期経営計画以外に単年度の経営計画を策定しており、2018年3月期の予想については、2017年3月期の業績等を考慮し策定しました。

## ■ 2018年3月期の重点施策

次期3ヶ年に向けて持続的成長への経営基盤を確実なものとするため、経営環境の変化を踏まえて以下の項目を重点的に取り組むべき課題として2018年3月期の施策計画に反映させ、経営目標の達成を目指します。

- ・技術力および施工能力の向上
- ・新規顧客の開拓および従来施策の発展的展開による受注基盤の強化
- ・働き方改革に向けた取り組みの推進
- ・自ら考え判断し、行動できる社員作りと協働できる職場風土作り

## ■ 2018年3月期各部門の主な取り組み

### 鉄道電気工事

- ・JR東日本への対応強化
- ・公民鉄事業者に対する技術支援および提案営業の推進
- ・協力会社の施工能力向上への支援・指導等による関係強化

### 一般電気工事

- ・緊密な協力会社の規模拡大、技術力向上への支援強化
- ・再生可能エネルギー工事、空調衛生工事の受注拡大

### 情報通信工事

- ・ネットワーク工事の提案営業強化、官公庁工事への積極的な入札参加
- ・鉄道関連施設における優位性を生かした組織的な営業展開

## ■ 新3ヶ年経営計画「日本電設3ヶ年経営計画2018」の策定に着手



# 主な取り組み施策



2017年3月期  
日本電設工業グループ

## ◇安全

- ◇安全は会社経営上の最重要課題
- ◇安全マネジメント再構築プロジェクト



安全マネジメント  
再構築プロジェクト冊子



安全推進実行計画2017

## ◇働き方改革

- ◇「働き方改革推進委員会」を設置
- ◇ICT活用等による業務の効率化と生産性の向上



働き方改革推進委員会



業務改善提案活動発表会

## ◇教育・訓練の改善

- ◇社員および協力会社社員の技術教育の充実
- ◇協力会社の若手社員の育成と資格取得の支援



電車線実習



日本電設工業 中央学園

## ◇施工体制強化

- ◇空調・衛生工事会社のグループ会社化
- ◇協力会社の関係強化と新規開拓



(株)石田工業所(福島県郡山市)  
グループ会社化(100%子会社)



協力会社との点呼風景

# 主な取り組み施策

## ◇技術開発

### ●作業の効率化

#### 【三相一括巻取り器の開発】(鉄道電気)



三相高圧配電線路の撤去時に3本のケーブルを同時に巻き取ることができる装置を開発し、作業の効率化を図った。

#### 【低電圧三相配線チェッカーの開発】(一般電気)

特許出願中



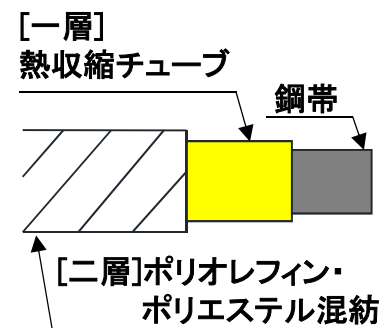
三相配電回路の施工後の健全性をチェックするため、可搬型の小型電圧発生器とチェッカーを開発した。

### ●作業の安全

#### 【非導電性天井用通線工具】(一般電気・情報通信) 特許出願中



リード線部



天井内のケーブル配線時に使用する通線工具はこれまで金属製であったため、既設設備の短絡や漏電の恐れがあった。  
今回、二重の絶縁加工を施し、直進性と非導電性を兼ね備えた通線工具を開発した。

# 主な取り組み施策

## ◇技術開発

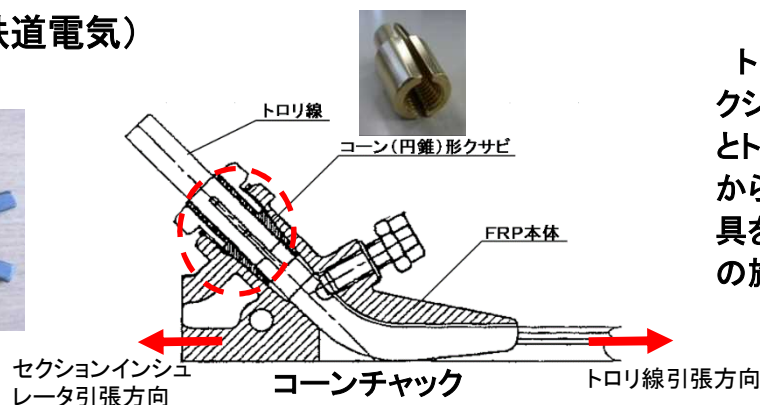
### ●平成29年度文部科学大臣表彰「創意工夫功労者賞」 受賞2件名

#### 【コーンチャック用トリ線外し器】(鉄道電気)

##### ・作業の効率化



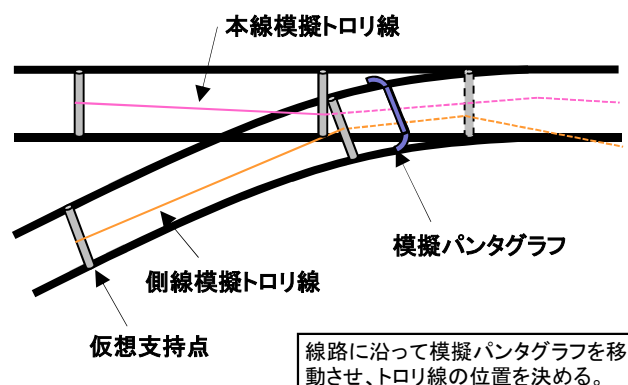
開発品



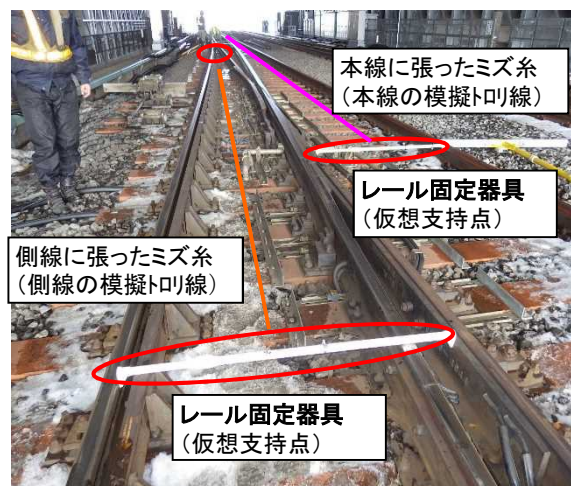
トリ線を電氣的に区分する装置(セクションインシュレータ)の取替時、装置とトリ線を固定しているコーンチャックからトリ線を簡単に取り外しできる工具を開発し、短時間(従来の1/3程度)での施工を可能にした。

#### 【無交差わたり線装置の電車線現場調査工具の考案】(鉄道電気)

##### ・作業の効率化



地上における調査の方法



現場調査工具の設置状況

無交差わたり線装置を設置する際、装置を設置する線路上空ではなく、地上で位置や高さを決めることができる調査方法を考案し、現場調査時間を短縮した。



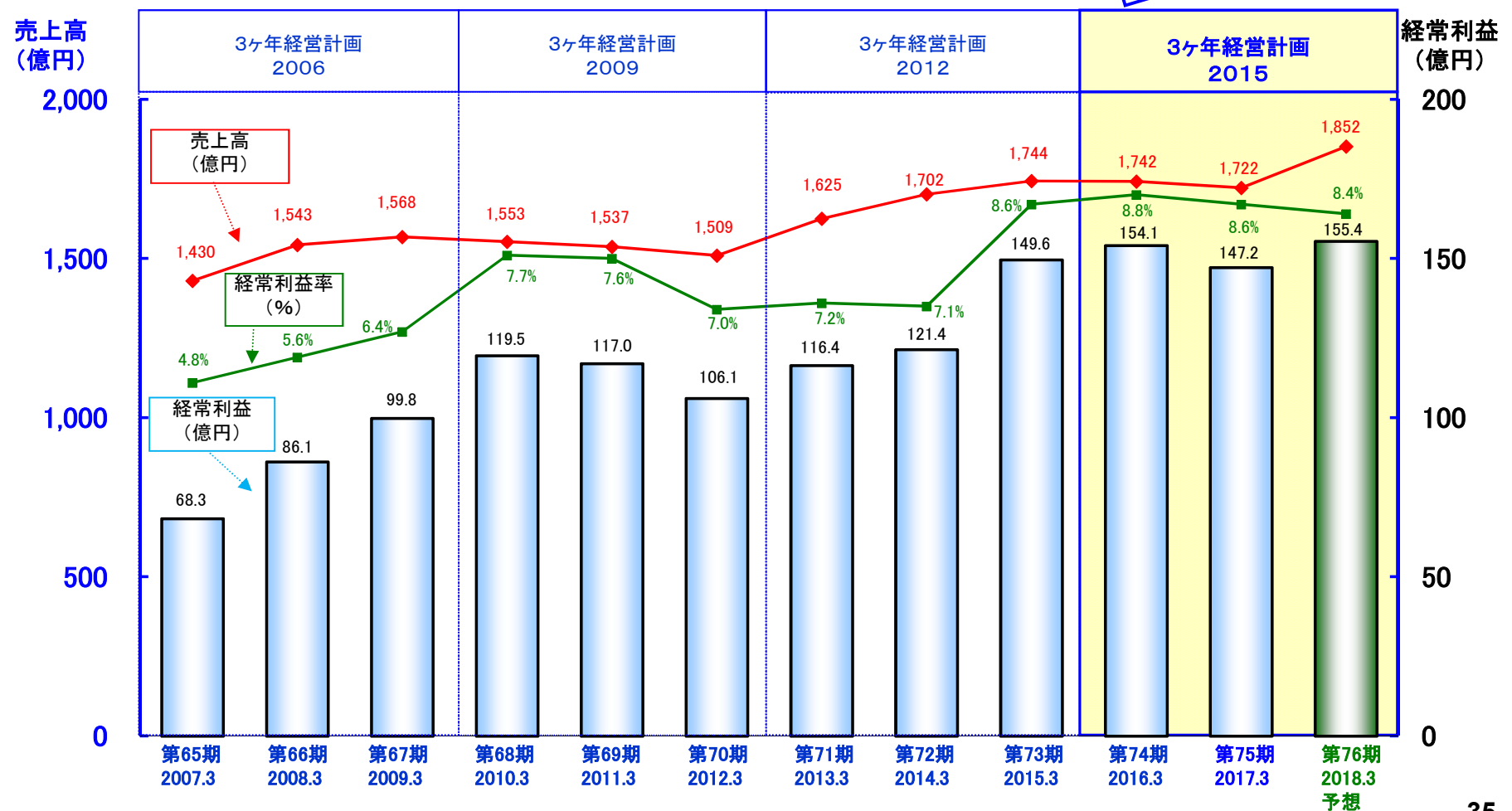
# 日本電設3ヶ年経営計画2015



2017年3月期  
日本電設工業グループ

現在の高い経常利益率(8%台)を維持し、  
売上高を拡大することで持続的成長を目指す

持続的成長



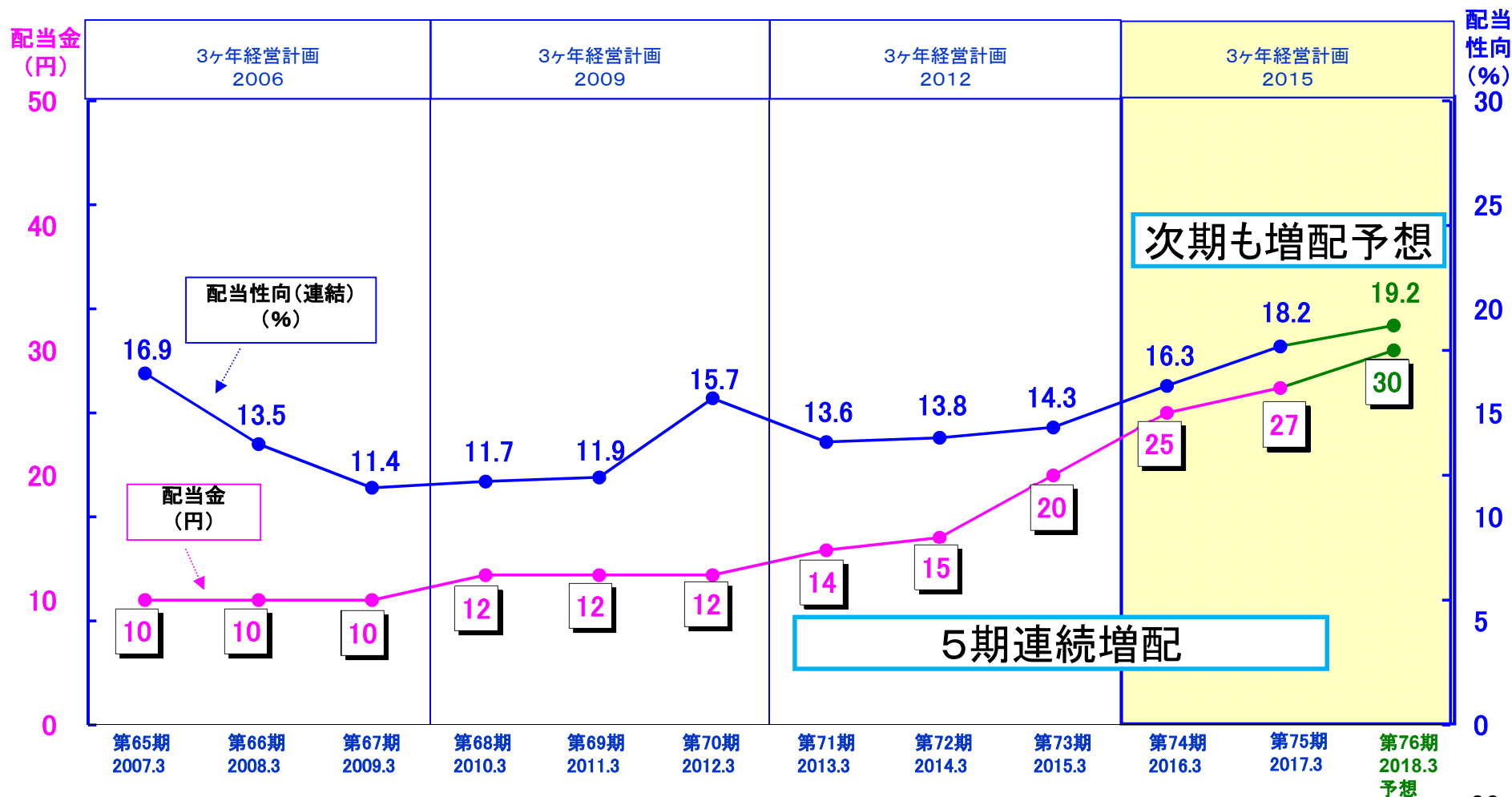
# 配当の推移



2017年3月期  
日本電設工業グループ

## ●利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様への利益還元を重要課題と認識し、利益配分については、企業体質強化のための内部留保や配当性向にも配慮しつつ、株主の皆様へ安定した配当を行うことを基本方針としております。





= さらなる成長を目指して新たな挑戦 =

中心にあるのは  
**「人間力」**  
技術を未来へつなぎます。



 **日本電設工業株式会社**  
本店：〒110-8706 東京都台東区池之端1-2-23  
Tel03-3822-8811 <http://www.densetsuko.co.jp>



本資料で記述しております予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後のさまざまなリスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は本資料における予想と異なる可能性があることをご承知おきください。

【お問い合わせ】

日本電設工業株式会社 広報部

〒110-8706 東京都台東区池之端1丁目2番23号

TEL: 03-3822-8825

FAX: 03-3822-8960

URL <http://www.densetsuko.co.jp/>